

### 石川高専

#### 学生と市民ボランティアが構内の竹林整備

石川高専では、平成20年11月15日「河北森林(かほくもり)づくりの会」の会員を中心とした市民ボランティアとともに、学生や教職員が構内の竹林整備を行いました。

本校西側県道沿いの防音林の竹林が繁殖しすぎたため、本校と連携協定を結んでいる津幡町と石川県の協力もあり、河北森林づくりの会との共同作業として取組んだもので、作業には学生も参加できる工程があるため、本校学生に呼びかけたところ、野球部員を中心に約30名の学生が参加しました。

石川県の担当者等から竹林整備の必要性・作業上の注意などの説明の後、市民ボランティアが竹を次々と切り倒すと、学生等は市民ボランティアの指導のもとで切り倒された竹を一定の長さに切り分け、竹材の選別・集積などに汗を流しました。切り分けた竹材は、本校の連携協定先の内灘町で活動しているボランティア団体「クリーンビーチ内灘作戦」へ提供し、内灘砂丘の復元のための竹垣として再利用されます。

本校では関係者の協力の下、今後も継続的に整備を行う予定です。



### 奈良高専

#### 認知度向上の取組を開始「凄い」ポスター作成

奈良高専では、入学志願者増に向け「入試広報と入試制度検討プロジェクト」が始動しており、種々の志願者データの分析に基づく施策が検討、実施されています。

このプロジェクトによる来年度の志願者や中学校の進路指導担当者向けに限定した広報と並行して、本校のもつポテンシャルをありのまま、対象者を限定しない形で世間に知らせることも本校の認知度向上に必要な広報活動です。本年度は、一般的に知られていない就職実績、進学実績を、大阪、京都、奈良の近隣主要駅の駅貼りポスターとして一斉に掲出、それにより本校に対する予備知識がない者に対して「凄い」という合い言葉で認知を図ることとしました。また、学校説明会の案内を送付している大阪、京都、奈良、滋賀、三重の中学校、塾及び県内公共施設、県内外教育委員会などに配付し、認知度向上と併せて学校説明会への出席インセンティブとしても活用することとしました。



駅貼り風景



ポスター

### 大分高専

#### 初めての海外インターンシップ

「異文化体験型国際技術者総合キャリア教育～東南アジアからの卒業留学生を核とした実践的総合キャリア教育～」が平成19年度現代GPIに選定されました。本事業の一つである海外インターンシップにより、3月と8月にマレーシア、シンガポール、中国及び韓国の企業や教育機関に計12名の学生を派遣しました。本校では、初めての試みでしたが、学生達の感想によると、「英語によるコミュニケーション能力の必要性を痛感した」「海外で働きたい希望を持った」「他国の文化や人々と触れ合えてよかった」「後輩達にぜひ勧めたい」などの意見が多く、大変有意義な海外インターンシップでした。受入れ企業でも、「高専生を研修生として受け入れたことにより現地社員のよい刺激となったので、今後も研修生の受入れを積極的に進めたい」という前向きな感想をいただきました。本事業を契機として、本校の教育理念、「人間性に溢れ国際感覚を備えた技術者の育成」の実現を目指してまいります。



マレーシア小倉造船のスタッフと学生



シンガポールポリテクニック校のスタッフと学生たち

### 新居浜高専

#### 高専ソコチカラ!

高専ならではの部活といったらロボコン、プロコンですが、新居浜高専ではその他の文化系の部活も負けてはいません。学園祭や四国地区総合文化祭だけではなく、年に2回自分たちで全ての運営を行う文化局発表会『高専ソコチカラ!』で大いに盛り上がっています。

学生がいろいろなことに挑戦するチャレンジプロジェクトとして有志がスタートさせたのですが、昨年から正式な学生会行事としてパワーアップし、次の3月のステージで6回目になります。

ステージは市民文化センターの施設をお借りしますが、なにしろ照明や音響、運営、司会、宣伝、雑用などを学生会とソコチカラ実行委員会が全て行うのでハプニングなども多々あります。しかしそれもパワーで乗り切り回を重ねるごとに楽しく見ごたえのあるステージを作り上げ、市民の皆さんにも好評です。

特に奇術部の躍進がすさまじく、毎回これを楽しみにご来場される方もいらっしゃるほどです。もちろん吹奏楽・ストリートダンス・演劇・コンピュータ部・美術・写真・ロボコンの各部も負けてはいません。

私たちのステージ魂をぜひ一度ご覧ください!

